



## 大人への第一歩

# 那須中央中学校 立志式



2月6日町文化センターで、那須中央中学校2年生生徒の立志式が行われました。

式典では初めに、1組の稲葉夢斗さん（写真右）が、サッカー選手になる夢について書いた作文『僕の将来の夢』を朗読しました。サッカー部に入って学んだことを学校生活にも生かし、プロのサッカー選手になって今までお世話になった人に恩返しをしたいと語り、最後は「夢はあきらめなければかなうので、絶対あきらめないで最後までやり遂げて、家族との約束を守りたいです」と、将来に向けた固い決意を述べました。この後、生徒140名がステージ上で一言ずつ「立志の誓い」を発表しました。

生徒の幼い頃と現在の写真をまとめたスライドショーが上映された後は合唱曲「あなたに会えて」が披露され（写真上）、式典の最後には、親子の手紙の交換が行われました。（写真中央）受け取った手紙を読みながら笑みがこぼれたり涙を拭いたりする姿が見られ、ともに歩んできた14年間の思い出と将来への希望にあふれた雰囲気の中、式典は終了しました。

立志式実行委員長長の1組亀山晴都さん（写真左）は終了後、「スライドショーの制作が大変で前日の夜7時までかかってしまいました。無事に終わってホッとしています」と安堵の笑顔を見せてくれました。



（那須中央学校の立志式の様子は4月号でお伝えします）



地域おこし協力隊として昨年10月に着任し、那須町での生活も慣れてきました。まだ寒い日が続いています。木々にはつぼみがつき始め、少しずつ春の訪れを感じています。

私は「鳥獣被害対策」を主として活動しており、昨年末には狩猟免許を取得することができました。現在は地域の先輩猟師さんの狩猟に同行して勉強しながら、自身でも狩猟ができるよう準備を進めています。

なぜ私が鳥獣被害対策をメインに活動しているかというと、那須町に限らずここ10年ほどで全国的に鳥獣被害が深刻化しているからです。

そもそもなぜ被害が深刻化しているのでしょうか。理由としては、開発等による環境の変化、獣と人里の緩衝地帯であった里山の減少、狩猟の圧力によって獣と人里との境界線を作ってきた猟師の減少等、様々な要因が重なった結果、鳥獣被害が拡大しているのだ



先輩猟師の大越さん（左）と新川隊員

はないかと私は考えています。そこで、鳥獣被害を少しでも食い止めるために、私自身が狩猟によって獣を捕獲・駆除し、正しい鳥獣被害対策の方法を農家さんにお伝えする事ができればと考えています。

また、5年後10年後の後継者の確保のために、狩猟に関心のある若い世代に対し、狩猟がどういうものなのかを正しく伝え、狩猟と生活を両立しながら地域で暮らしていくことが出来るという事を私自身が実践して成功させることによつて、伝えていきたいと考えています。

狩猟に関してはまだまだ半人前ですが、早く一人前の猟師となり、鳥獣被害を少しでも防ぐよう活動していきますのでよろしくお願いたします。